

# 指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和5年度		
施設名	素波里ふるさと自然公園センター	設置年	昭和 58 年
所在地	秋田県山本郡藤里町粕毛字南鹿瀬内		
指定管理者	藤里町		
県所管課	自然保護	課	調整・自然環境 チーム

## 1 施設の概要

設置目的	自然公園の利用の増進を図り、県民の心身の健全な発達に寄与することを目的として設置。素波里国民休養地内に位置し、地域の自然について映像や展示品で紹介。					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における施設の位置付け・目標 生物の多様性の確保と自然公園等の適正な管理					
	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための 取組として施設に求められているもの 自然環境学習拠点施設等の利用者数の増加					
施設の面積	建築面積：375.06㎡ 延床面積：300.00㎡					
主な設置施設	展示室（模型、パネル等）、ワークスペース					
指定管理業務の内容	料金制	有（利用料金併用制 ・ 完全利用料金制） <b>無</b> （指定管理料制）				
	料金設定	なし				
	サウンディング実施対象施設※	×				
	指定期間	R3.4.1		～	R8.3.31	
	営業期間・時間	4月17日～11月7日 午前9時～午後5時				
		(1) 施設及び設備の維持管理に関する業務 (2) 秋田県素波里ふるさと自然公園センターの管理に関し知事が必要と認める業務				
自主事業の内容	施設の周辺清掃。					
直近3年の年間利用者数	R3	7,386 人	R4	5,338 人	R5	3,875 人
直近3年の年間利用収入	R3	千円	R4	千円	R5	千円
直近5年の収支決算(単位:千円)		R元	R2	R3	R4	R5
収入計		412	561	330	327	269
利用料金収入						
指定管理料						
その他収入		412	561	330	327	269
支出計		412	561	330	327	269
人件費		204	192	168	177	155
光熱水費		208	369	162	150	73
修繕費						
外部委託費						36
その他経費						5
差引		0	0	0	0	0

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

## 2 観点ごとの評価

### <観点 I> 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

#### 【ポイント】

施設の設置目的（施設の目指す姿）を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

#### ○指定期間における運営方針・施設の利用目標

(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

#### ○目標の設定（毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標）

令和5年度 の目標	利用者数 6,000人
--------------	-------------

#### ○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	実績	3,875	達成率	64.5%	
	具体的な取組とその効果	令和4年度に引き続きワーケーション施設として活用されることを期待し、各種設備の維持管理を実施。利用者の増加には至らなかったものの、施設の大きな破損や事故もなく、適切に管理されていた。			
直近3年 の実績	年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	目標	3,300	3,400	8,000	
	実績	2,664	7,386	5,338	
	達成率	80.7%	217.2%	66.7%	
令和6年度 の目標 (設定根拠)	目標	利用者数 4,200人			
	設定根拠	令和5年度に引き続きワーケーション施設として活用され、利用者の増加を期待する。令和5年度の実績を参考に、1割程度増を見込む。			

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

### <観点 I> の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	C	秋田県の協力のもと、ワーケーション施設としての利用PRはできていた。白神山地世界自然遺産登録30周年ということもあり、観光客の増加を見込んでいたが、記録的大雨、クマ出没多数により増加までは至らなかった。
県 (所管課)	C	利用者の減少が続いている。天候やクマの影響による利用者数の伸び悩みは地域の特性上やむを得ないものである。	

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。  
また、施設の設置目的（施設の目指す姿）を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

＜観点Ⅱ＞ 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度 令和5年度 の実績	実績	100.0%		
	具体的な 取組と その効果	改善点や要望事項、必要備品等があった場合にはサービス向上のため、迅速に対応する。また、一新した展示を通して素波里園地を含めた白神山地をより深く知ってもらいながら、実際に体験可能なエコツアーなどもPRする。		
利用者満足度 の状況 (直近3年)	R2年度	R3年度	R4年度	
	100.0%	100.0%	100.0%	

＜観点Ⅱ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	改善点や要望事項は特になかったが、自然体験等のPR部分が弱かったと感じる。
	県 (所管課)	A	引き続き高い満足度を維持している。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: 満足度80%以上 B: A及びC以外 C: 満足度60%未満

＜観点Ⅲ＞ 効率性の向上等に関する取組

(1) 経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	経費の 低減実績	特になし
	具体的な 取組と その効果	特になし

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2) 収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	収入の 増加実績	特になし
	具体的な 取組と その効果	特になし

＜観点Ⅲ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	日常的・経常的な支出のみのため、大きく変わった部分はなし。 収入においても使用料を徴収していない。
	県 (所管課)	B	引き続き経費の削減に努めている。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上改善

B: A、C以外

C: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上悪化

＜観点Ⅳ＞ 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	<p>○人員配置 施設の管理運営に必要な人員を配置しており、サービス提供に支障は生じていない。</p> <p>○安全対策 1日1回目視による点検結果により、必要に応じて修繕を行い、利用者が常に安全に利用できる状態を保っている。</p>
--------------	---

＜観点Ⅳ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	施設においては大きな破損や事故もなく、重大な問題点はない。 施設利用者数が増加するような取組が必要と考える。
	県 (所管課)	B	適切な管理運営に努めており、重大な問題点は見受けられないが、施設利用者の増加に向けた取組が必要である。

【評価基準】 A: 順調(改善点なし)、B: 概ね順調(重大な問題点なし)、C: 改善が必要(重大な問題点あり)

県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

## 【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

### ○県の施策の達成状況(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)

地域の自然や文化などの情報を展示・解説・発信する施設として、自然公園利用の増進と環境保全の意欲の増進、環境教育・環境学習の推進等に寄与している。

### ○施設運営の課題

施設の老朽化

### ○今後の方向性(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)

引き続き必要な修繕等を実施しながら管理運営する。施設の老朽化が進んでいるため、将来的な大規模修繕を含めた施設のあり方について検討する必要がある。